

第3次 能美市行財政改革大綱

令和2年度の取組状況及び
令和3年度の取組項目



令和3年7月
能 美 市

(1) 効率的・効果的な行政運営

① 職員の能力開発と資質の向上

No.1 【質の改革】 人事評価制度の効率的運用と利活用の推進（総務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
人事評価制度の基準改定、手法の見直し及び安定的な利活用のための基準作成	職員アンケートによる効果があったとする回答率	-	 検討・実施	 実施 (目標達成)	 再検討・調整	 実施	 実施	60%以上 【見直し】 H30目標達成により、75%以上
			目標					
			30.0%	40.0%	72.0%	74.0%	75.0%	
			実績					
			9.8%	70.6%	65.4%	72.9%		
【令和2年度の取組状況】 ・事業活動・役割達成度に重点をおいた評価方法（令和元年度見直し）により人事評価を実施した。 ・評価結果を職員の能力向上及び評価の基準として活用を進めたことで、意識向上につながったとする回答が全体の72.9%に達した。								
【令和3年度の取組内容】 ・見直し後の方法により人事評価の実施を行い、結果を職員の能力向上及び評価の基準として活用を進める。								

No.2 【質の改革】 職員の研修受講による資質の向上（総務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
研修計画等の検討及び職員の資質向上を目指し研修の積極的活用を図る。	アカデミー、NOMA、自治大学の受講者数	(H28) 12人	 検討・実施	 実施	 実施	 実施	 実施	(各年) 18人
			目標					
			-	14人	15人	16人	18人	
			実績					
			12人	15人	11人	2人		
【令和2年度の取組状況】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種研修の開催自体が中止となったり、庁内で受講見合わせの方針が示されたことにより、受講者数が伸び悩んだ。								
【令和3年度の取組内容】 ・職員が積極的に研修に参加できるよう研修機会の増加を図り、職員の資質向上を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、オンライン研修も積極的に活用する。								

②事務の効率化の推進

No. 3【量の改革】事務の効率化の推進による窓口証明発行手数料の適正化（市民サービス課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
窓口証明発行コストの適正化に努め、受益と負担の公平性を保った上で行政サービスを提供できるよう財源の確保に努める。	証明発行手数料の増収	(H28) 9,600千円	⇒ 見直し・検討	⇒ 見直し・検討	⇒ 実施	⇒ 継続	⇒ 継続	R1~R3 各年11,700千円
			目標					
			—	—	11,700千円	11,700千円	11,700千円	
			実績					
			—	—	12,033千円	12,020千円		
【令和2年度の取組状況】 ・証明書発行手数料改正（令和元年7月施行）により、受益と負担の公平性を図った窓口手数料を確保した。 （改正内容：住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票などの手数料を200円から300円に改正）								
【令和3年度の取組内容】 ・令和元年7月に改正した窓口の証明書発行手数料を継続して実施する。								

No. 4【質の改革】定型業務の効率化の推進（財政課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
既に作成した定型業務のマニュアルの更新及び追加により、更なる効率化を図り、各作業担当者の負荷軽減及び精密化を図る。	繁忙期（5月～7月）の時間外削減	—	⇒ 見直し	⇒ 実施・調整・作成	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	⇒ 実施	20時間削減 【見直し】 R1目標達成により、 35時間
			目標					
			—	5時間削減	20時間削減	35時間削減	35時間削減	
			実績					
			—	30時間削減	40時間削減	23時間削減		
【令和2年度の取組状況】 ・業務のマニュアル化に伴い、時間外勤務の縮減に向けた取り組みを実行した。								
【令和3年度の取組内容】 ・業務のマニュアル化に伴い、時間外勤務の縮減に向けた取り組みを引き続き実行する。								

No.5【質の改革】行政評価に基づく効果的な施策展開の推進（市長戦略課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
新行政評価システムにより、第2次総合計画及び総合戦略の目標指標を進捗管理し、事務事業の評価・検証を行う。	すべての施策レベルと主要事業の評価を実施	-	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	全評価対象事業 H30評価対象を主要事業に見直し
			目標					
			400事業	140事業	173事業	134事業	141事業	
			実績					
			727事業	140事業	173事業	134事業		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7分野、全施策（42施策）及び主要事業の評価を実施した。（継続し実施している134の事務事業を評価し、結果を改善に役立てた） 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業評価及び施策評価を実施する。 ・行政評価の結果を次年度予算要求に連動させ、行政資源の最適化を図る。 								

No.6【質の改革】情報化社会への対応（市長戦略課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
情報の整理・分析・活用の重要性の啓発及び職員の情報リテラシーの向上を図り、ICTを活用した業務改善の基礎とする。	eラーニングの受講率	-	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	100%
			目標					
			60%	70%	100%	100%	100%	
			実績					
			100%	100%	100%	100%		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務端末を利用する正規・非常勤職員全員（消防本部、保育園等を含む）を対象に、「個人情報保護コース」「サイバーセキュリティコース」のeラーニングを実施し、受講率は両コースとも100%を達成した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務端末を利用する正規・会計年度任用職員全員（消防本部、保育園等を含む）を対象に、全職員「サイバーセキュリティコース」に加え、各課（室）ITリーダーには「ICT入門コース」、マイナンバーを取り扱う職員には「マイナンバーコース」、その他の職員には「情報セキュリティコース」のeラーニングを実施する。 								

③市民目線に立った行政サービスの提供

No. 7【質の改革】マイナンバーカードの取得及び利用促進（市民サービス課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
マイナンバーカードの取得及び利用を推進し、窓口交付以上に利便性を高めたコンビニ交付へシフトさせる。	マイナンバーカード発行枚数	-	 見直し	 見直し	 実施	 実施 (目標達成)	 継続	累計3,500枚 【見直し】 R2目標達成により、 累計26,600枚
			目標					
			2,300枚	累計 2,500枚	累計 3,000枚	累計 3,200枚	累計 26,600枚	
			実績					
			783枚	累計 1,329枚	累計 2,726枚	累計 10,340枚		
【令和2年度の取組状況】 ・企業一括申請及び出張申請受付を実施した。 ・令和2年8月よりマイナンバーカードヘルプデスクを本庁舎で開設し、申請時来庁方式を導入した。 ・毎月第1、第2、第4日曜日にマイナンバーカード休日交付窓口を開設した。								
【令和3年度の取組内容】 ・コンビニ交付サービスの利用を促進するため、マイナンバーカードの利便性とマイナンバーの普及を積極的に周知する。								

No. 8【質の改革】町会・町内会街灯LED化の推進（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
街灯(防犯灯)のLED化を促進し、安心安全なまちづくりとCO2削減による地球温暖化防止を推進する。	LED化率	(H28) 55.8%	 実施	 実施 (目標達成)	 実施	 実施	 実施	70.0% 【見直し】 H30目標達成により、 85.0% 【見直し】 R1目標達成により、 95.0%
			目標					
			60.8%	65.5%	80.0%	90.0%	95.0%	
			実績					
			64.7%	76.1%	84.7%	86.7%		
【令和2年度の取組状況】 ・町会長会等で補助制度を紹介するなどLED化を推進した結果、町会・町内会管理の街灯（防犯灯）のLED化率が84.7%から86.7%となった。								
【令和3年度の取組内容】 ・LED化が進んでいない町内会・町会に対しLED化促進を促し、CO2の削減を図る。								

No.9【質の改革】子どもを取り巻く環境（認定こども園、児童館等）の充実（子育て支援課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市立認定こども園（保育園）、児童館、放課後児童クラブ、子育て支援センター、子ども発達支援センター及び病児保育センターの子育て関連施設の運営や施設維持管理方法等の課題解決に向けて、包括的に検討する。	子育て関連施設の様々な課題解決にむけて包括的に検討し、方針を決定	-	 調査	 調整	 検討	 検討・確定	 実施	-
			目標					
			先進自治体事前調査	検討委員会設立	認定こども園委員会の設置 児童館の廃止	地元等説明会を開催 運営費補助を協議調整	移管先法人によるこども園開園 移管先法人による新園舎開園	
			実績					
			先進自治体事前調査	検討委員会設立	認定こども園委員会の設置 児童館の廃止	地元等説明会を開催 運営費補助を協議調整		
【令和2年度の取組状況】 ・前年度選定された優先交渉権者と共同で民営化にむけた説明会（6月実施）を開催し、地元及び保護者の同意を得た。 ・令和3年4月から保育園の民営化に移管するため、優先交渉権者と随時調整を行った。 ・施設整備や運営費補助について調整を行い、令和3年度当初予算へ計上するとともに、関係要綱を整備した。								
【令和3年度の取組内容】 ・4月より、旧園舎で移管先法人による、幼保連携型認定こども園開園する。 ・移管先法人による新園舎建設を進め、年度内に新園舎開園する。								

(2) 持続可能な財政運営

① 事務事業の最適化

No. 10 【量の改革】 経常収支比率の抑制（財政課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
枠配分方式による 予算編成に取り組 んでいるが、さら なる経常収支比率 の抑制につながる 手法を検討・実践 する。	経常収支比率	(H27) 92.1%	 継続	 継続	 継続	 検討・ 継続	 継続	91.0%以下
			目標					
			92.0%	91.8%	91.5%	91.3%	91.0%	
			実績					
			94.5%	92.5%	92.7%	91.3%		
【令和2年度の取組状況】 ・ 予算要求区分を前年に引き続き経費区分を4区分（経常固定、経常変動、政策一般、政策臨時）で実施した。 ・ 厳しい財政状況を庁内で共有するため予算編成方針通知に合わせ予算説明会を開催した。								
【令和3年度の取組内容】 ・ 厳しい財政状況を庁内で共有するため、予算編成方針通知に合わせて予算説明会を実施する。								

No. 11 【量の改革】 市民の自主的な運営参加による生涯スポーツ環境の構築（スポーツ振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
（公財）能美市ふるさと振興公社へ委託したスポーツ健康教室を更に発展させ（公財）能美市ふるさと振興公社の完全自主運営事業とする。	スポーツ健康教室開催補助金	-	 調査・ 調整 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続	1,654千円削減
			目標					
			-	1,654千円削減	1,654千円削減	1,654千円削減	1,654千円削減	
			実績					
			1,654千円削減	1,654千円削減	1,654千円削減	1,654千円削減		
【令和2年度の取組状況】 ・ 前年に引き続き（公財）能美市ふるさと振興公社の運営努力により、目標であったスポーツ教室開催補助金の削減を達成した。								
【令和3年度の取組内容】 ・ 完全自主運営の経過を観察する。								

No. 12 【質の改革】 自主防災組織の組織率の向上（危機管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
自主防災力（共助）の向上のため、全町会・町内会に自主防災組織の結成を促す。また、自主防災組織向けの各種補助金要綱の見直しと統合を行う。	自主防災組織の結成数	(H28) 67組織	⇨ 検討	⇨ 検討	⇨ 見直し・周知・検討	⇨ 実施・検討 (目標達成)	⇨ 実施	72組織 【見直し】 R2目標達成により、 74組織
			目標					
			70組織	71組織	72組織	72組織	74組織	
			実績					
			69組織	71組織	71組織	73組織		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2町会が新たに結成、残りの1町会は令和3年度結成見込み。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新要綱（平成31年4月改正）による補助を実施する。 ・補助金に頼らない運営を支援する。 								

No. 13 【質の改革】 家族介護支援に係る高齢者福祉制度の見直し（福祉課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
介護用品購入助成事業について、利用状況を把握し、適宜見直しを図る。	介護用品購入助成事業の対前年度伸び率	(H28決算⇒H29予算) 2.1%	⇨ 調査・見直し	⇨ 調整・見直し	⇨ 見直し (目標達成)	⇨ 実施 (目標達成)	⇨ 実施	1%以下
			目標					
			1%以下	1%以下	1%以下	1%以下	1%以下	
			実績					
			6.8%	8.3%	△11.7%	0.4%		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗での助成券利用実態調査をし、適正利用されていない店舗に指導を行なったことにより、店側の適正利用に関する意識が向上した。決算伸び率0.4%となり、目標値1%以下を達成した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正利用について継続した指導を行う。 								

No. 14 【質の改革】 任意予防接種の公費助成のあり方の検討（健康推進課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
感染症を予防するため任意予防接種の公費助成のあり方を検討する。	インフルエンザ予防接種率	(H28) 28.3%	→ 継続	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	55.0%
			目標					
			46.0%	47.5%	50.0%	55.0%	55.0%	
			実績					
			45.0%	45.7%	56.1%	56.5%		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策対策としてインフルエンザの助成対象者を「生後6か月～中学生」から「生後6か月～18歳までと妊婦」に拡大した。 ・保育園で感染予防の注意喚起を実施した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罹患状況、接種状況に応じて体制を見直し継続していく。 ・広く市民が助成制度を利用し接種率が向上することで、集団的な予防効果と感染症のまん延防止につなげる。 ・基本的な感染予防対策についての周知を継続して行う。 								

No. 15 【質の改革】 脳の健康度チェックによる認知症等の早期発見、治療、進行防止（健康推進課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
76歳に到達する市民へ「脳の健康度チェック」を実施し、早期発見及び必要者は介護予防教室に繋げる。	認知症を早期発見し、早期治療や進行防止に効率的に繋がられる体制をとる	-	→ 見直し・調整 (目標達成)	→ 新体制 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 見直し・継続	-
			目標					
			課題、今後の事業の在り方を検討	体制の継続	体制の継続	体制の継続	体制の見直し、継続	
			実績					
			課題、今後の事業の在り方を検討	体制の継続	体制の継続	体制の継続		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしん相談センターによる地域活動支援を延べ122回実施した。 ・認知症初期集中支援チームによるケース支援のための認知症早期発見の目安によるチェックを実施した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期治療や進行防止に効率的に繋がられる体制を、状況に応じて見直し及び継続する。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、75歳以上の方を対象とした長寿健診で認知機能を確認するとともに、地域の通いの場である「のみ活倶楽部」において、認知機能のチェックを実施する。 								

No. 16 【質の改革】国民健康保険特別会計の健全な運営（保険年金課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
法定外繰入に頼ることなく、国民健康保険特別会計の健全運営を目指す。また、適正な保険税額の設定及び保健事業の効果的な運営により医療費の抑制を図る。	・保険税滞納世帯の割合	(H28) 16.5%	⇒ 継続	⇒ 見直し	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	12%
		目標						
	・特定健康診査受診率	52.9%	16%	15%	14%	13%	12%	56%
			54%	54%	54%	56%	56%	
			実績					
15.5%	14.0%	13.7%	15.0%					
53.5%	53.8%	56.2%	56.3%					
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 債権管理課等と連携し滞納者との接触を進め、預貯金調査を行い、収納率向上に努めた。 特定健診、特定保健指導、生活習慣病保健指導を進め、医療費の抑制に取り組んだ。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 債権管理課等と連携し滞納者との接触を進め、預貯金調査を行い、収納率向上に努める。 特定健診、特定保健指導、生活習慣病保健指導を進め、医療費の抑制に取り組む。 								

No. 17 【質の改革】公園整備に係る補助金制度の見直し（まなび文化課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等	
			H29	H30	R1	R2	R3		
補助金額と交付条件の整理及び他課との類似補助金制度を整理する。また、各団体の自立を目指し、自主財源での活動ができるよう支援を行う。	補助金制度の適切・効果的な執行が図られるよう整備	-	⇒ 調査・検討	⇒ 見直し・協議	⇒ 周知・実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	-	
			目標						
			問題点・課題点を調査	補助金内容の見直し	新たな補助金の周知	新たな補助金の周知・活用	新たな補助金の周知・活用		
			実績						
			問題点・課題点を調査	補助金内容の見直し	新たな補助金の周知	新たな補助金の周知・現地調査			
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会・町内会役員会で補助制度の周知を行った。 市内の全公園について、現地確認を行い現況を把握した。 									
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会・町内会への補助制度を周知する。より安全・安心な遊具の利用のため、制度の活用を案内する。 									

②積極的な財源の確保

No. 18 【量の改革】 財源確保と市有地維持管理費の経費削減（管財課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市有遊休資産を積極的に売却または賃貸し、財源の確保に努める。	市有遊休資産を売却	—	→ 継続	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	→ 継続	累計 78,462千円 【見直し】 R1目標達成により、 累計 119,690千円
			目標					
			31,941 千円	累計 40,648 千円	累計 70,648 千円	累計 114,290 千円	累計 119,690 千円	
			実績					
			11,072 千円	累計 19,779 千円	累計 96,860 千円	累計 114,290 千円		
【令和2年度の取組状況】 ・大長野町地内、南部保育園跡地の2件の市有物件売り払いを行った。								
【令和3年度の取組内容】 ・売却可能な土地を看板設置や広報・ホームページ等で広く周知し、売払いを進める。 ・購入希望のあった土地を随時、売払いしていく。								

No. 19 【量の改革】 ふるさと納税の推進（市長戦略課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市に直接足を運んでもらい、寄附者から更なる魅力を拡散してもらえる返礼品を絶えず提供する。また、企業版ふるさと納税の導入を検討する。	ふるさと寄附金額	(H28) 32,212千円	→ 継続・ 検討	→ 実施 (目標達成)	→ 継続	→ 継続	→ 継続	35,000千円 【見直し】 H30目標達成により、 48,000千円 【見直し】 R1目標達成見込により、 56,000千円
			目標					
			32,320 千円	33,694 千円	39,984 千円	56,000 千円	56,000 千円	
			実績					
			32,370 千円	36,440 千円	46,583 千円	47,304 千円		
【令和2年度の取組状況】 ・個人版ふるさと納税返礼品登録数を令和2年度当初261品から令和2年度末までに355品に拡充した。								
【令和3年度の取組内容】 ・個人版ふるさと納税返礼品を拡充（新規登録者、新商品の追加）する。 ・ふるさと納税掲載サイトを追加する。 ・企業版ふるさと納税を継続する。								

No. 20 【量の改革】債権管理の一元化（債権管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
複合的滞納者への徴収体制を見直し、税・料金の一元的徴収を実施することで、適正な債権管理により未収債権の縮減を図る。	未収債権額	-	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	→ 継続	→ 継続	累計 289百万円削減 (H27実績868百万円の 1/3) 【見直し】 H30目標達成により、 累計 434百万円削減 (H27実績868百万円の 1/2)
			目標					
			72 百万円	累計 159 百万円	累計 343 百万円	累計 388 百万円	累計 434 百万円	
			実績					
			191 百万円	累計 297 百万円	累計 350 百万円	累計 405 百万円		
【令和2年度の取組状況】 ・税・強制徴収公債権の徴収一元化を開始した。 ・債権放棄を実施した。								
【令和3年度の取組内容】 ・債権所管課職員の研修を実施する。 ・税・強制徴収公債権の徴収一元化を継続する。 ・非強制徴収公債権の徴収一元化を開始する。								

No. 21 【質の改革】収納率の向上（債権管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
滞納整理指導員の採用、滞納整理機構との連携強化、コールセンターによる初期・少額滞納者への電話催告実施及び可処分資産公売等により収納率の更なる向上を図る。	現年度収納率	-	→ 継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	99.3%~99.5% を維持
			目標					
	過年度収納率	-	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	31.0%以上 を維持
			実績					
			30.2%	30.4%	31.0%	31.0%	31.0%	
			99.4	99.4	99.5	99.3		
			32.0%	32.7%	27.6%	35.5%		
【令和2年度の取組状況】 ・滞納整理機構への派遣継続による徴収技術の向上、滞納整理指導員の指導のもと困難案件対応、コールセンターによる滞納発生の初期対応を実施した。								
【令和3年度の取組内容】 ・滞納整理機構への派遣継続による徴収技術の向上を図る。 ・滞納整理指導員の指導のもと困難案件に対応する。 ・コールセンターによる滞納発生の初期対応を実施する。 ・可処分資産の公売を実施する。								

No. 22 【質の改革】 作成伝票の整理による枚数の削減（会計課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
更新した財務会計システムの機能を活用し、データを集約することで伝票作成の枚数を削減する。	データを集約	—	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	—
			目標					
			集約できる範囲の調査	マニュアル化	事務の見直し改善	事務の見直し改善	事務の見直し改善	
			実績					
			集約できる範囲の調査 取りまとめ計画策定	マニュアル化	システムの検討を実施	システムの代替検討 一部集約化		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入を検討していた伝票削減のシステムの代替の検討を行った。 伝票の一部を集約化し、事務の効率化を図った。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝票削減のための、引き続き事務の見直し改善を図る。 								

③公共施設の最適な配置と効率的・効果的な管理

No. 23 【量の改革】し尿処理施設の老朽化対策及び処理経費の削減（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
施設の老朽化対策にともない一部事務組の広域化によるスケールメリットを活かし、処理経費の削減を図る。	汚水処理施設共同整備（MICS）事業により施設を整備	—	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備・実施	—
			目標					
			3市1町により負担割合の検討	3市1町により負担割合の検討	し尿投入施設の整備	し尿投入施設各種工事	し尿投入施設各種工事施設完成	
			MICS事業へ移行準備、基本協定締結	し尿投入施設基本・詳細設計等を実施	し尿・浄化槽汚泥受入施設建設工事発注	し尿投入施設各種工事着工		
【令和2年度の取組状況】 ・3市1町によるMICS事業へ移行のためのし尿・浄化槽汚泥受入施設建設工事等に着手した。 ※工事着手後に想定以上の湧水があり、工法の変更が必要となった。								
【令和3年度の取組内容】 ・し尿投入施設（土木工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事）の整備する。 （工期延長により、施設の完成は令和4年3月末の予定） ・広域化による負担金額の縮減を図る。								

No. 24 【量の改革】学習施設等の運営方法の見直し（まなび文化課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
根上総合文化会館・学習センターにおいて、利用状況を調査し、各施設の開館時間や利用規約、また使用料の減免要件の見直し等、市民がさらに有効利用できる施設運営を目指す。	各施設の利用者の意向を踏まえながら、運営方法の見直しを行い施設の有効活用を目指す。	—	⇒ 検討	⇒ 検討	⇒ 調査	⇒ 検討	⇒ 検討	—
			目標					
			利用状況、利用者ニーズ調査	効率的な運営方法を検討	使用料減免状況調査	検討会による今後の方針を検討	検討会による料金設定や減免基準を検討	
			利用状況、減免状況調査	検討会発足	検討会による市内施設の使用状況について調査・検討	検討会による今後の方針を検討		
【令和2年度の取組状況】 ・施設使用料等の見直しに関する検討会により、現状及び今後の方針について検討した。								
【令和3年度の取組内容】 ・市内公共施設の使用料の設定基準及び減免基準等を検討する。								

No. 25 【量の改革】 下水道接続率の向上（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
生活環境の推進を図るため、接続率の向上及び増収を目指す。	下水道料金	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	増収額 累計 10,509千円 【見直し】 R1実績による 累計 6,406千円
			目標					
			1,437千円	累計 3,433千円	累計 5,575千円	累計 5,852千円	累計 6,406千円	
			実績					
			2,867千円	累計 5,171千円	累計 5,171千円	累計 5,171千円		
【令和2年度の取組状況】								
・未接続世帯に対して、広報活動による接続依頼を実施した。								
【令和3年度の取組内容】								
・未接続世帯に対して、広報活動や電話による接続依頼を実施する。								

No. 26 【量の改革】 病院経営の安定化に向けた収益の増加
及び地域包括ケアシステムの構築に向けた病棟再編の推進（市立病院）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
病院新改革プラン（H29～R2）に基づき、収益の改善を図るとともに、既存病棟を時代のニーズに合わせて再編し、地域包括ケアシステムの構築を図る。	病床再編による収益改善額	-	⇒ 調整・ 実施	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続・ 検討	⇒ 継続	累計 82,572千円 【見直し】 R2実績による 累計 119,866千円
			目標					
			23,184 千円	累計 49,336 千円	累計 74,886 千円	累計 94,559 千円	累計 119,866 千円	
			実績					
			0 千円	累計 19,279 千円	累計 19,279 千円	累計 19,279 千円		
【令和2年度の取組状況】								
・病棟再編を実施し、職員の適正配置にも取り組んだ。 ・当院の強みとなる包括的医療・介護の体制強化を図った。								
【令和3年度の取組内容】								
・経営改革プロジェクトによる各部署目標の設定および取り組みを実施する。								

No. 27 【質の改革】市管理街灯LED化の推進（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市の街灯(防犯灯)整備事業により、街灯、防犯灯のLED化を促進し、安心安全なまちづくりとCO2削減を推進する。	LED化率	(H28) 20.1%	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	70.0%
			目標					
			34.2%	43.2%	36.5%	57.7%	70.0%	
			実績					
			30.7%	35.6%	38.9%	59.9%		
【令和2年度の取組状況】 ・令和2年度で217基の街灯のLED化を実施した。								
【令和3年度の取組内容】 ・故障した街灯を順次LED灯に取替えを行う。 ・104基の街灯のLED化を実施する。								

No. 28 【質の改革】橋梁長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市橋梁長寿命化修繕計画により、整備、点検を実施し橋梁の長寿命化と修繕費用の平準化によるライフサイクルコストの低減を図る。	橋梁補修工事数	-	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 見直し・継続	⇒ 継続	⇒ 継続	累計 9橋 【見直し】 R3長寿命化修繕計画見直しによる 累計 7橋
			目標					
			1橋	累計 2橋	累計 4橋	累計 6橋	累計 7橋	
			実績					
			1橋	累計 2橋	累計 4橋	累計 6橋		
【令和2年度の取組状況】 ・能美市橋梁長寿命化修繕計画に沿って、2橋の補修工事を実施した。								
【令和2年度の取組内容】 ・能美市橋梁長寿命化修繕計画に沿って、1橋の補修工事を実施する。								

No. 29 【質の改革】市営住宅長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減（まち整備課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市営住宅長寿命化計画により、老朽化の著しい市営住宅より初期の耐用年数以上の耐久性を目指す整備改修を進めてライフサイクルコストの低減を図る。	能美市営住宅長寿命化計画に沿って改修整備を実施	-	⇒ 見直し	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	累計 10棟
			目標					
			2棟	累計 7棟	累計 7棟	累計 8棟	累計 10棟	
			実績					
			2棟	累計 7棟	累計 7棟	累計 8棟		
【令和2年度の取組状況】								
・ 緑町住宅1号棟の外壁、浴室、排水管改修を行った。実施数：1棟								
【令和3年度の取組内容】								
・ 緑町住宅2号棟の外壁、浴室改修、緑町住宅4号棟排水管改修を行う。実施予定：2棟								

No. 30 【質の改革】公園施設長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減（まち整備課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園内の健全度評価が低い施設の更新を図る。	撤去・更新・修繕の実施数	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	累計 47基 【見直し】 R2実施数の精査により 累計 56基
			目標					
			15基	累計 27基	累計 35基	累計 50基	累計 56基	
			実績					
			13基	累計 25基	累計 33基	累計 42基		
【令和2年度の取組状況】								
・ 老朽化した施設について撤去、更新あるいは修繕を実施した。実施数：9基								
【令和3年度の取組内容】								
・ 危険度の高い施設から優先的に14基を更新（修繕）する。								

No. 31 【質の改革】上水道老朽管の更新（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
配水管路のうち、塩化ビニル管は漏水発生率が高いため、計画的に更新（同時に耐震化）を行い、水道水の安定供給を図る。	耐震適合率（耐震整備管路延長÷全管路延長）	(H28) 5.8%	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	7.3%
			目標					
			6.1%	6.4%	6.8%	7.0%	7.3%	
			実績					
【令和2年度の取組状況】								
・老朽化した配水管0.44kmを更新（布設替え）した。								
【令和3年度の取組内容】								
・老朽化した配水管1.30kmを更新（布設替え）する。								

No. 32 【質の改革】配水池の耐震化の促進（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
配水池の耐震補強を推進することにより、災害時における応急給水の確保を図る。	配水池耐震施設率（レベル2地震動対応配水池容積÷全配水池容積）	(H28) 34.4%	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	48.3% 【見直し】 R3整備計画見直しによる 43.3%
			目標					
			34.4%	48.3%	48.3%	48.3%	43.3%	
			実績					
【令和2年度の取組状況】								
・耐震化した施設の付帯工事を実施した。								
【令和3年度の取組内容】								
・耐震化を進めるための、施設の優先順位等の検討を行う。								

No. 33 【質の改革】 下水道重要幹線の耐震化の促進（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
処理場に直結する幹線管渠、防災拠点及び重要道路に埋設されている管渠に対し、大規模な地震が発生した場合でも施設の機能の確保を図る。	耐震化実施率 (対策済みマンホール数÷耐震診断結果に基づく要対策マンホール数)	(H28) 30%	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	100% 【見直し】 R2計画見直しによる 60.0%
			目標					
			45.5%	51.7%	48.3%	57.6%	60.0%	
			実績					
			35.6%	40.9%	48.3%	54.4%		
【令和2年度の取組状況】								
・マンホール浮上対策工事を7か所、管口部耐震化工事を13か所実施した。								
【令和3年度の取組内容】								
・マンホール浮上対策工事を9か所、管口部耐震化工事を9か所実施する。								

No. 34 【質の改革】 消防施設整備計画に基づく消防車両等の最適な配置及び更新（消防本部庶務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
消防車両の更新等を計画的に行い、消防力の最適な配置、効率・効果的な管理運営に努めていく。	消防施設整備計画に沿って施設の整備	-	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	累計 6台 【見直し】 R1計画見直しによる 累計 7台 【見直し】 R3計画見直しによる 累計 8台
			目標					
			1台	累計 2台	累計 4台	累計 6台	累計 8台	
			実績					
			1台	累計 2台	累計 4台	累計 6台		
【令和2年度の取組状況】								
・消防ポンプ自動車1台（18年経過車両）を更新した。 ・梯子車1台を新規に整備した。								
【令和3年度の取組内容】								
・消防ポンプ自動車1台を更新する。 ・高規格救急自動車1台を新規整備する。 ・今後のコスト軽減を試算していく。								

No. 35 【質の改革】 道路舗装の長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
道路舗装の長寿命化修繕計画を策定し、維持補修費のライフサイクルコスト低減を目指す。	補修工事延長	-		⇨ 調査・計画	⇨ 実施	⇨ 実施	⇨ 実施	累計 3.50km 【見直し】 R2計画見直しによる 累計 13.00km
			目標					
				-	1.00km	累計 8.86km	累計 13.00km	
			実績					
				-	3.86km	累計 8.71km		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化修繕計画に沿って、4.85km（7路線）の補修工事を実施した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化修繕計画に沿って、車線延長4.29kmの補修工事を実施する。 								

(3) 多様な主体との協働推進

①協働の意識づくり

No. 36 【質の改革】 行政情報の共有化と満足度の向上（市長戦略課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市民と市長が市政に関する対話を行い市政に対する理解を深めるとともに市民の意見を幅広く市政に反映する。	市民満足度調査による施策全体の総合評価	-						0.5
			検討・実施	継続	継続	継続	継続	
			目標					
			0.5	満足度調査未実施	0.5	満足度調査未実施	0.5	
実績								
0.36					満足度調査未実施	0.47	満足度調査未実施	
<p>【令和2年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングを5回開催し、延べ約200人の参加を得た。 								
<p>【令和3年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングを継続開催する。 ・市民満足度調査を実施し、市民の満足度・重要度を集計、分析する。 								

No. 37 【質の改革】 市民や市民の参加する団体の活動拠点の整備（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型のまちづくりを推進するための拠点を整備し、まちづくり団体等の連携を促す。	市民満足度調査における地域活動・市民活動に取り組む市民の割合	(H27) 48%						60%
			継続	継続	継続	継続	継続	
			目標					
			50%	満足度調査未実施	55%	満足度調査未実施	60%	
実績								
50%					満足度調査未実施	51%	満足度調査未実施	
<p>【令和2年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりにかかわる団体等の合同研修会として、県主催の研修会「地域づくり円陣」に市民協働まちづくりセンターを利用している団体が参加した。 								
<p>【令和3年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内でまちづくりに関する活動を行っている団体との、活動報告会を開催し、まちづくりへの関心を高める。 ・協働の仕組みづくりを支援・構築し、地域課題を解決できる市民団体等を育成するため、まちづくりにかかわる団体等の合同研修会を2回開催する。 								

No. 38 【質の改革】官民協働による観光振興（観光交流課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市観光アクションプランに基づき官民協働の各種観光関連事業を展開していく。	能美市への観光入り込み客数の毎年度前年度対比	-	⇒ 検討	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	3%増
			目標					
			3%増	3%増	3%増	3%増	3%増	
			実績					
			3%増	8.4%減	0.2%増	40.3%減		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により事業を自粛や縮小することとなったが、能美根上駅5周年を記念しアートで演出する等能美市玄関口のリニューアルに取り組んだ。 ・新型コロナウイルスの影響により観光入込客数は大幅に減少した。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <p>コロナ対策を十分に考慮し、地域活性化起業人の活用による着地型観光商品造成、小松・能美連携観光推進事業の展開等により誘客に向け取り組む。</p>								

No. 39 【質の改革】地域福祉委員会の活性化（いきいき共生課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
いきいき他課等、社会福祉協議会等多機関との連携を図り、ヒント探し講座等事業（地域活性化事業）の活発な利用により、地域福祉委員会のさらなる活性化及び地域力向上を目指す。	地域活性化事業等に取り組む地域福祉委員会	-	⇒ 調査	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 評価	累計 59委員会 【見直し】 R1実績による 91委員会
			目標					
			-	64委員会	累計 76委員会	累計 83委員会	累計 91委員会	
			実績					
			32委員会	累計 64委員会	累計 76委員会	累計 82委員会		
<p>【令和2年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動連絡会等で働きかけを行い、地域福祉委員会での買い物支援の取り組みを始めた地区や助け合い組織が立ち上がった。 ・91ある地域福祉委員会のうち、活動が「年に数回の話し合いがされている」状況以上になっている委員会の数が新たに6地域福祉委員会増えた。 								
<p>【令和3年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他課、多機関と連携し、計画に沿って地域福祉委員会に働きかける。 								

②協働事業の推進

No. 40【量の改革】道路里親制度の推進（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
町会・町内会、企業等が里親として登録し、植樹ますの除草、植栽、街路樹の軽易な剪定を実施することで、市道の安全と美しく潤いのある道路環境を維持し、協働での公共施設管理の推進を図る。	維持管理費	-	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	各年600千円削減
			目標					
			600千円	600千円	600千円	600千円	600千円	
			実績					
			619千円	644千円	635千円	567千円		
【令和2年度の取組状況】 ・里親制度の周知及び登録の呼び掛けを実施し、令和2年度末登録者は1団体増の46団体となった。								
【令和3年度の取組内容】 ・町会・町内会、企業などが里親として登録し、植樹ますの除草、植栽、街路樹の軽易な剪定を実施する。								

No. 41【質の改革】市民防災力「自助・共助」の強化（危機管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
「自助・共助」による防災力を高めるために出前講座や研修会による啓発、運営相談等の支援並びに訓練及び資機材整備に対する補助金制度による支援を行う。	訓練を実施する自主防災組織数	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	50組織以上
			目標					
			40組織	50組織	50組織	50組織	50組織	
			実績					
			49組織	41組織	49組織	25組織		
【令和2年度の取組状況】 ・出前講座等により自主防災組織への訓練実施啓発を実施した。 ・地域の防災リーダー（町会長・防災士）のスキルアップ研修参加に対する支援を実施した。 ・自主防災組織への資機材整備費等の補助を行った。 ※新型コロナの影響により一部自粛となった。								
【令和3年度の取組内容】 ・訓練実施の啓発を実施する。 ・防災リーダーのスキルアップ研修への参加を促進する。 ・訓練費、資機材整備費を補助する。								

No. 42 【質の改革】 市民活動支援の実施（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型まちづくりを推進するため、市民団体等から地域活性化等の企画の実現を支援することで、後の自立化や活動の定着及び活性化を促す。	地域力創出支援事業に採択される累計団体数	(H28) 累計 12団体	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	累計 23団体
			目標					
			累計 15団体	累計 17団体	累計 19団体	累計 21団体	累計 23団体	
			実績					
			累計 16団体	累計 19団体	累計 19団体	累計 20団体		
【令和2年度の取組状況】 ・地域課題のテーマに沿った地域活性化1事業について、補助事業として採択し支援を実施した。								
【令和3年度の取組内容】 ・市民に対し、事業実施団体への取組み結果を紹介する。 ・制度を利用する市民や市民団体を増やすため、事業の周知を図り、地域力創出支援事業の申請件数を増やす。								

No. 43 【質の改革】 敬老会の充実及び活性化（福祉課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
敬老会を、老人クラブとの協働で開催することで、敬老会の充実及び老人クラブ活動の活性化を図る。	敬老会に老人クラブと協働でおこなえるメニューを盛り込む	-	→ 見直し・実施 (目標達成)	→ 調整・継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	→ 継続	30分間 【見直し】 H29目標達成により 1時間
			目標					
			30分	1時間	1時間	1時間	1時間	
			実績					
			30分	1時間	1時間	-		
【令和2年度の取組状況】 ・新型コロナの影響により、敬老会は中止としたため、指標は達成できなかった。 ・参加率を上げるため、敬老会事業の在り方について、町会・町内会長、老人クラブ役員会に意向を確認した。								
【令和3年度の取組内容】 ・「すべての市民が支え合い、住み慣れた地域で安心して年を重ねることができるまちづくり」を目指し、地域コミュニティでの敬老事業開催を目指す。								

③公共サービスの担い手の育成・支援

No. 44 【量の改革】 ジュニアスポーツクラブ等の任意団体の自主運営化の促進（スポーツ振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
ジュニアスポーツクラブと総合型地域スポーツクラブとの間で事務局員の併用・単位クラブの両団体への加入等を促進させ、会員自ら企画立案、運営ができるよう自主運営に移行させる。	ジュニアスポーツクラブ等への補助金削減額	(H28) 3,400千円	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	1,700千円 【見直し】 R2必要最低限とするため 各年400千円削減
			目標					
			340千円	680千円	1,020千円	400千円	400千円	
			実績					
			0千円	100千円	400千円	400千円		
【令和2年度取組状況】 ・自主運営効率化の徹底を図り、ジュニアスポーツクラブ単位クラブの総合型地域スポーツクラブへの加入を呼び掛けた。								
【令和3年度取組内容】 ・自主運営効率化の徹底を図り、ジュニアスポーツクラブ単位クラブの総合型地域スポーツクラブへの加入を呼び掛ける。								

No. 45 【質の改革】 まちづくり活動の人材育成（市民力の強化）（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型まちづくりの一役を担う団体を支援する。NPO化が可能な団体にはNPO設立を支援する。	石川県地域づくり協会コーディネーター派遣事業により、課題解決につながった団体数	-	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	累計 6団体
			目標					
			1団体	累計 2団体	累計 3団体	累計 4団体	累計 6団体	
			実績					
			0団体	累計 0団体	累計 2団体	累計 5団体		
【令和2年度取組状況】 ・石川地域づくり協会コーディネーター派遣を実施した。令和2年度3団体（累計5団体） ・まちづくりに取組んでいる人や団体にアドバイザー派遣事業を紹介し、積極的な活用を促すとともに、課題解決への支援等を行った								
【令和3年度取組内容】 ・石川地域づくり協会コーディネーター派遣を実施する。 （石川県コーディネーターの役割として、まちづくりや人材育成等、地域づくり団体に対する相談があり、市で相談があった場合、協会事業を活用する） ・まちづくりに取組んでいる人や団体にアドバイザー派遣事業を紹介し、積極的な活用を促すとともに、課題解決への支援等を行う。								

第3次能美市行財政改革大綱実施計画書

令和3年7月策定

能美市総務部財政課行財政改革推進室

〒923-1297 石川県能美市来丸町1110番地

TEL 0761-58-2203 FAX 0761-58-2290